

シルバーあみ

第172号 令和4年5月26日発行

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数 339名(4月30日現在)

男 237名 女 102名

安全就業スローガン

- ・チョットまで 作業の手順 手を抜くな!
- ・無災害 個々の意識が 実を結ぶ



令和4年度 定時総会のお知らせ

○5月17日(火)の理事会で、令和4年度定時総会を6月23日(木)9時30分(9時受付)から、場所は、本郷ふれあいセンターにて開催することを決定しました。

6月上旬に開催通知状と議案書をお届けします。

ただし、今回も昨年同様にコロナウイルス感染状況を勘案して規模を縮小し、役員及び被表彰者、スタッフ等による実施とし、「議決権行使書」提出により開催となりますので、よろしくお願いいたします。

理事会

○令和4年1月24日(月)第6回理事会は新型コロナウイルスまん延防止等重点措置により開催が中止となり、定款の規定にて決議の省略となりましたが、理事10名全員より「同意書」並びに監事2名全員より「確認書」が提出され、次の議案が承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 賛助会員入会の承認について
- 3 センター自動車貸出規程一部改定の変更について
- 4 令和4年度センター主要会議等日程案について

○令和4年3月25日(金)第7回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 令和4年度事業計画(案)の承認について
- 3 令和4年度収支予算(案)の承認について
- 4 特定資産取得時期変更の承認について
- 5 役員等賠償責任保険(D&O)契約締結の承認について
- 6 会員団体傷害保険における死亡保険金増額契約の承認について
- 7 会員団体傷害保険等加入指針の改定の承認について

○令和4年5月17日(火)令和4年度第1回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 特別会員入会の承認について
- 3 理事・委員候補者の承認について
- 4 被表彰者の承認について
- 5 令和4年度定時総会の開催概要(案)について
- 6 令和4年度定時総会議案書(案)について

安全委員会

○令和4年1月14日(金)安全パトロールを実施しました。
給食センター配送業務の確認を行いました。

実施場所

- 1 阿見町学校給食センター
- 2 配送先(二区保育所、阿見小、舟島小、阿見中)合計4カ所

ボランティア委員会

- 令和4年3月17日(金)皆様からの善意の使用済み切手を社会福祉協議会へ届けました。同事務局長より、謝辞をいただきました。



事務局

- 令和4年度の正会員会費の納入について
令和4年度の正会員会費が未納の方は、5月31日(火)までに納入をお願いします。
1年間未納の場合は退会扱いになりますのでご注意ください。
- 事務局の新旧嘱託職員をご紹介します。



皆様のご協力により、3年7カ月間大過なく職務を果たすことができました。今後は、一会員として「自主・自立、共働・共助」をモットーに仕事に励んで行きたいと思っております。宜しくお願いいたします。

(柳生 昌宏)



4月から嘱託職員として採用され、ただいま業務全般について勉強中です。お客様、会員様に迷惑のかからないように取り組みたいと思っています。宜しくお願いいたします。

(西川 覚)

●新しい会員の紹介 (令和4年1月1日～4月30日) 10名

会員番号	氏名	行政区	会員番号	氏名	行政区
1641	柳生 昌宏	住吉	1647	石塚 敏夫	中央西
1642	仲寄 哲	北	1648	松本 貞男	飯倉
1643	長谷川 一郎	二区南	1649	山西 哲也	二区北
1644	江口 政江	南平台三丁目	1650	諸星 正美	筑見
1645	川北 和枝	立ノ越	1651	岡田 さち子	鈴木

一口メモ

- 75歳以上の免許更新制度が変わります。

“新免許更新制度とは”

高齢運転者の事故対策を目的に、2020年6月に道路交通法が改正されたことは、皆さんも聞き及んでいることと思います。

(本年)2022年5月から施行されました。

対象となるのは、75歳以上の高齢運転者です。『一定違反行為』があった場合、免許更新時に受検が義務付けられる運転技能検査や、安全運転サポートカーだけを運転できる限定免許制度がスタートします。

認知機能検査と高齢者講習も変更が予定されているので注意が必要です。

自分の免許更新が旧制度になるのか、新制度になるのかは、免許更新通知が届いた後の予約の際に確認しましょう。



広報委員 鷹野 忠雄

脳トレコーナー

ここでちょっと遊びながら、集中力や思考力、語彙力を高めましょう！

四字熟語が言葉で言えれば、それに当てはまる漢字を考えてみましょう。

考えることが認知機能を衰えさせないために有効です。頑張ってやってみましょう。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ① 呉 越 同 <input type="text"/> | ⑥ <input type="text"/> 実 剛 健 |
| ② 付 和 雷 <input type="text"/> | ⑦ <input type="text"/> 花 繚 乱 |
| ③ <input type="text"/> 志 貫 徹 | ⑧ 悠 々 <input type="text"/> 適 |
| ④ 全 力 投 <input type="text"/> | ⑨ <input type="text"/> 病 息 災 |
| ⑤ 文 <input type="text"/> 兩 道 | ⑩ 七 転 <input type="text"/> 倒 |

会員の広場 《子供の頃のふるさと》

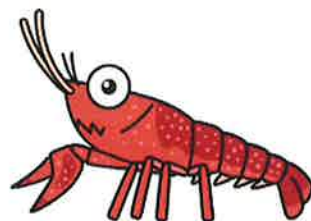
龍ヶ崎市に属する牛久沼、牛久沼と言うので牛久市に属すると思う人も多いと思う。小川芋銭が彫ったと言われる河童の碑は牛久市側の沼の小高い丘にあります。

私は昔の牛久沼に近い所に住んでいました(小学生から中学生まで)。なぜ牛久沼と言うかは後でわかんと思ひます。

今はつくば市になってしまったが以前は稲敷郡荃崎村という所です。牛久沼は、今は6号国道に近い処から少しつくば市に入り込んでいる沼ですが、私が住んでいた頃の沼は今の倍ぐらひの大きさでした。6号国道近辺から筑波の方へ向かって沼は延々と続いていた。当時、荃崎橋と言っていました、その荃崎橋から筑波の方へ向かって沼は続いていたのです。それがある時、川の下流側から筑波へ向かって沼は半分に割られました。当時 2000 間(4Km 近い)土手と呼ばれた堤防で区切られていたのです。区切られた半分は水が汲みだされ(干拓され)田んぼにされました。昔は田んぼを増やしたかったのでしょう。半分に区切られ、半分は田んぼに、残り半分は今も沼の名残が残っているのが谷田川と呼ばれる川になりました。荃崎橋から上流が牛久沼で下流が谷田川になりました。干拓され田んぼになる前は水を抜かれ泥沼状態です。底なしの泥沼でした。入ったら抜け出せません。そんな泥沼に小学生だった私達は小さな舟を出して押し進めました。目的は魚です、と言っても狙いは雷魚です。雷魚と言うとまだらな青い魚を思い浮かべると思ひますが、この沼にいた主はそんなものではありません。丸太のように太い茶色になったもので、それが泥の上に浮いているのです。そんな雷魚を小学生数人で捕まえるのは大変です。泥だらけになってそれを捕まえて舟へ。そして家に持ち帰りさばいて(皮をむいて)油で揚げて食べるのです。その他にも牛久沼にはたくさんの生き物がいました。鯉、鮒はもちろんウナギも。当時、沼にはたくさんウナギがいて私達も捕まえることができました。捕まえる方法は独特の方法なのですがここでは省きます。それからザリガニもたくさんいました。カエルを捕まえて皮をむき糸でぶら下げてザリガニを釣るのです。いくらでも釣れました。このザリガニは茹でて食べたり、天ぷらにして食べました。

近年、NHKでも田舎の田んぼの小川で捕ったザリガニを食べている映像を流していましたが、ザリガニはおいしいのです。貧しい時代(戦後 10 年間頃)子供の私達のタンパク源はこうして摂取していました。

今は高齢になり、このような野生の生活はできませんが、もし万が一食糧難の時代になったならばザリガニをとって食べるかもしれません。



脳トレコーナー解答

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 呉 越 同 舟 | ⑥ 質 実 剛 健 |
| ② 付 和 雷 同 | ⑦ 百 花 繚 乱 |
| ③ 初 志 貫 徹 | ⑧ 悠 々 自 適 |
| ④ 全 力 投 球 | ⑨ 無 病 息 災 |
| ⑤ 文 武 兩 道 | ⑩ 七 転 八 倒 |



○ 表紙の写真について

(桜の全体像)

ベニシダレジソウザクラ

「紅枝垂地蔵ザクラ」

この桜は、日本三大桜として有名な福島県三春町にある樹齢1000年超の「滝桜」の近く、郡山市にあります。

「滝桜の娘」と言われており、樹高16m、樹齢約400年になるそうです。

この桜の下には、地蔵堂があり、昔から赤ん坊の短命、夭折(ようせつ)の難を逃れるため、この地蔵に願懸けが行われていました。

- ・時期 4月中旬～下旬
- ・桜の種類 エドヒガン桜
- ・場所
郡山市中田町木目沢字岡ノ内

事務局 西川 覚

